



# ラチオの佛法僧

辰巳 和子

新うして三河より放送の  
佛法僧の魂に込められた  
暗闇を、私は何ともしも今  
一度開きたいものどどんな  
に思つた事であらう。兎に角  
佛法僧の魂がゆよくなく、  
の心、投げつけられた深い  
のであり、又あこがれ止ま  
ぬ強い衝動と興へたので

静かな夏の佐保山、黒野  
山の夜、けいけい響く鳥の  
間に、よとよとに似た響  
を聞かされた思つて耳澄し  
事も幾度であつたか。一  
さうした事であつた一年、  
過ぎる頃、今年また三河風  
來寺山からの佛法僧の聲を  
聞いたので。

今年の放送は曇り勝ちの  
五月間の夜で少し風が  
あつたが、最初の晩は難  
音もあつて聞き難い程で  
したがそれでもさうさうと  
谷を渡る風の間に、山の泉  
で啼く其聲は全く心に沁  
むばかりに思へるのでし  
た。

翌日は風も無く静か  
だが、矢張り月は無く暖か  
な晩で、耳を澄ますと前夜  
よりもはつきりと聲は流  
れた。ついでに聞いて居る  
前年の時よりも其聲は何と  
なくもの寂しい感じがして  
ならない。前年の時  
は時々枝移りしつゝ其處に  
聲も消えて行つた様でし  
たが、今年の聲は枝移りす  
る様子もなくじつと一音  
響き続けて居たやうです。  
私は色々考へた末、これ  
月が無い為ではないか、  
よとよと思つたので、  
は、いつか願ひに水、  
法僧の文章の中にも谷を  
分けられる様な月夜に、  
分ける様に月夜に、其  
のたふや、また去年月の  
美しい夜に放送を聞いて印

## 雨やみて

雨止みてさびやかなる連が夜を路地を歩  
むわがわがわが  
○この路地のしほはほどほどははらかき土に  
われの足音も  
○運くなりて歸りて夜も口開きで喉に薬を塗  
ことごとく  
○よく遊ぶやうになりぬと臥床にてわが妻がいよ  
ぬむ。深き子

△鳩保己一奉す  
(文政四)△森野外  
○改まつたやうに  
△今晩は……  
△管理(昭和三三)  
△昭和三三

庄太郎は、家の中へはい  
り、改まつたやうに  
「今晩は……」  
と一語した。  
「お上り下さい」  
と、お上り下さい。  
「有難うございます。實は  
あつたらぬ商人仲間、今  
夜寄合ひがあつたんです  
から、すつかり遅くなつ  
てしまつて……あまり遅  
いから、今晩はもうお伺ひ  
せ、歸らうかと思つてゐ  
ましたが……でも、まだ起  
きていらつしやつたんで  
すね」



## 講談

△太田七月號 新進歌人の  
歌論並に作品を輯め初版、今夜妙に時付き  
歌集 題字尾山第二郎  
給島田忠夫(一部二十錢)  
税五厘鳥取縣高部郡豊  
村大字宮谷二七五其發行  
所

「いゝお下、誰かあつた  
が見るやうに思へるので  
した。」  
「(よりあをがへる)むさ  
び)の聲も無味な程はつ  
きり入り、風寒寺山地獄  
谷の夜は更けるらしく、峽  
にこだまして冴ゆる三寶の  
聲は實に空を合せ度い程敬  
虔な氣持になるのでした。  
其の聲は、最後の一聲ま  
でもと耳を傾けて居たので  
したから。」

「いゝお下、誰かあつた  
が見るやうに思へるので  
した。」  
「(よりあをがへる)むさ  
び)の聲も無味な程はつ  
きり入り、風寒寺山地獄  
谷の夜は更けるらしく、峽  
にこだまして冴ゆる三寶の  
聲は實に空を合せ度い程敬  
虔な氣持になるのでした。  
其の聲は、最後の一聲ま  
でもと耳を傾けて居たので  
したから。」

行發日八月七  
天気豫報  
明日 雨  
晴の風  
雨の風  
晴の風  
雨の風

△鳩保己一奉す  
(文政四)△森野外  
○改まつたやうに  
△今晩は……  
△管理(昭和三三)  
△昭和三三

開店披露  
お多幸  
小料理  
た多幸のみつ豆  
本日より開店いたしました。  
どうぞ御来店を御願ひいたします。  
平市田町末廣路

漢方百草根  
陸海軍病院御用藥  
平代理店 丸龜商店  
平市大町 電話一三三番

集募  
サロンの  
永続者には将来の保証を致します  
ボーイさん  
調理見習人

家傳良藥 ムテキ  
主治効能  
製劑本舖 宮城縣 ムテキキ商会  
平市古殿治町十番地(縣社下)

移轉廣告  
今般左記へ新築移轉致候御通知申  
上候  
昭和十四年四月  
平市南町十四番地(警察署通角)  
(舊診所 平市六丁目)  
木村外科醫院  
木村 淳  
電話三〇九話  
◎入院應需

重田眼科  
眼鏡一般 醫師重田景治  
平市田町一丁目  
電話三〇九話

日本水産特約 平製米社會  
御小賣  
魚は凍魚  
白エビ 甘鯛  
タビナ 鯛  
エビマナ 鯛  
魚帆立貝柱  
冷カツノコウニ貝焼

住宅地分譲  
都心に近き保健境  
平第三小學校東北方約二萬坪  
金より物の時代  
安全の土地  
市内の住宅難は近來各方面の膨脹發展に伴ひ其の深刻を加へ、往々他の大都市を凌ぐ家賃高は他から轉入の勤め人などをして常に悲鳴を擧げさせてゐる状態に比較的永住性のある向では借地の土住宅の新築を計畫するものも少くないが、それすら不便なる敷地址その他北方方面を除いては差し當り好場所が無く、當今の貸家賃地地底はまさに市の一の社會問題と目されてゐる折柄、金成上院議員所有の市内第三小學校東北方約二萬坪、金成上院議員所有の市の希望に應じ夫々分譲する事となつたが同地は都心に近き宏潤市の南郊で時御柄希求者、相當多數あることなるべく詳細は田町一九(電話七八七番)連沼方へ問合せられたい

大小各口の御相談に應ず  
御希望の方は市内田町一九連沼方  
(電話七八七番)へ御問合せ下さい

關東北の新鋭古剛

六組 烈日下の争覇接戦

あす警中で庭球豪華版

庭球、地方庭球界の最高峰として、同大会に於て従来二面...

偽刑事御用

同日午前一時頃大崎は平野...

力強き愛國の熱情

つづく献金部隊

昨記念日の市役所

愈よ夏は本格に

釜中を逃避する人々

今日八日小暑。温風至。蟋蟀夏之れで愈よ本格に入つ...

遠洋出動船薄漁

七十隻から快報未だし

郡下各港からカムチャツカ沖漁船は江名濱の六十七隻...

占領の萬歳を唱へ

兩人相抱いて泣く

山田 正君(信)

中陣を聴く

(432)

毎月報報かに活躍して居るかに見えて居るが...

記念日の緊張に拍車

野崎氏の支那講演盛況



野崎氏(右)支那講演盛況

平市市長長野崎氏は、全市を挙げて...

有志夫人も交る

平署の博徒狩り

時あつたらう博徒記念日の前日八日近所に非現行更に...

中支に活躍

佐藤政雄君

佐藤政雄君は、中支に活躍...

家庭料理 けふの献立

青豌豆豆腐、大根卸...

柴田署長の講演に感激

既報。料理屋並に代表から献金の申出...

有田君の献立

切、里芋、小豆、油揚げ...

高柳博明

醫學博士 高柳博明

七月新譜中

街に野に山に! 流行歌

金光堂時計店

其種類を取揃へ御座います

科外生徒募集

邦文タイプライター科

高久病院

内科 小児科 外科 花柳病科

高柳博明

醫學博士 高柳博明

山崎合名會社

味噌油 味噌 醤油

高柳博明

醫學博士 高柳博明

高柳博明

醫學博士 高柳博明